



## AIフュージョンキャピタルグループ<254A>、クラウドサービスのショーケース<3909>をTOBなどで子会社化



AIフュージョンキャピタルグループは14日、クラウドサービスなどIT関連企業のショーケースを子会社化すると発表した。TOB（株式公開買い付け）で39%余りの株式を取得した後、第三者割当増資を引き受けて所有割合を最大51%とする。買収総額は約18億3600万円。AIフュージョンは投資事業の中で、AI（人工知能）領域を主軸に据えており、その一環。ショーケースの東証スタンダード市場への上場は維持される。

ショーケース株の買付価格は1株につき420円。TOB公表前日の終値349円に20.34%のプレミアムを加えた。買付予定数は所有割合39.64%（増資後の所有割合32.18%）にあたる275万9100株で、下限も同数とした。買付代金は11億5882万円。

創業者で筆頭株主の森雅弘氏、同じく創業者・現会長で第2位株主の永田豊志氏は所有する合計39.2%（増資後の所有割合31.83%）の株式をTOBに応募する予定。

買付期間は11月15日～12月12日の20営業日。決済の開始日は12月19日。公開買付代理人はフィリップ証券。ショーケースはTOBに賛同しているが、応募については株主の判断に委ねることを決めた。

TOB成立後、ショーケースはAIフュージョンを引受先とする約6億7700万円の第三者割当増資（増資後の所有割合18.81%）を実施する。

ショーケースは1996年設立。Webサイト最適化技術を中心に、オンラインビジネスのコンバージョン（成約率）の向上、本人確認におけるなりすまし防止などを実現するクラウドサービスを主力事業として展開。2015年東証マザーズ市場に上場。2016年東証1部に昇格。2022年4月に東証スタンダード市場へ移行した。